

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配 置 困 難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
人間生活学部	食物栄養学科	夜・通信	0	40	44	13			
		夜・通信							
		夜・通信	4						
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/dai_jitumu_s.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表

https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/04/harada_yakuinmeibo20200325.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	内科クリニック院長	平成30年4月1日から 令和4年3月31日まで	理事長及び理事会のガバナンス機能のチェック機能
非常勤	眼科院長	平成30年4月1日から 令和4年3月31日まで	理事長及び理事会のガバナンス機能のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

シラバスは次の作成規則（「令和元年度学校教育法施行規則第172条2 教育研究活動等の状況についての情報の公表」参照）により本学公式ホームページで公開している。シラバスの公表の時期は、新入生にオリエンテーション時にCDで配布している。ホームページには新入生に配布した後、4月上旬に公表する。

【シラバス作成規則】

シラバス作成規則は、岡山学院大学及び岡山短期大学の教育方針に従い、各学科の教育課程（カリキュラム）の授業科目のシラバス（教育計画）の作成について定める。シラバスの様式は様式-1のとおりとする。シラバスには年度表示して、使用する学生の入学年度を明確にする。教育課程（カリキュラム）に編成されている授業科目名を記入する。当該授業科目の授業回数と単位数を記入する。授業科目を担当する教員名を記入し、学生からの質問受付の方法としてe-mailアドレス及びオフィスアワーを記入する。e-mailアドレスがない場合は無記入とする。オフィスアワーの記入は、時間設定の代わりに在室時は何時でも可としてもよい。教育目標は教育課程編成・実施の方針及び学生の学習成果について明確に記入する。授業の進め方にある講義・演習・実験・実習・実技は、いずれかを四角で囲う。その際、別紙-1, 2の授業形態を参照する。予習・復習は、1単位45時間の計算によって、講義：30時間、演習：15～30時間を課すよう授業時間以外の学習を加えること。テキストの指定は授業内容に相応しいもので、高額にならないものを選択すること。学習成果を明示し、「達成基準」ではなく、学習成果を測定する方法及び評価点の配点が学生に分かるよう記入する。参考図書等を記述し学生が学習しやすくなる。1回から15回の授業内容を記入する。学習内容の箇条書きではなく、「何を学び何が出来るようになるか」について教育目標と学習成果の整合性を図って記入する。該当回の授業で何を学習したかを欠席者にも分かるように記入する。定期試験を含まない。

授業計画書の公表方法	学生への配布とホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/03/R2ShokuSyllabus.pdf
------------	--

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

教授会は、理事会で制定された「岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科の教育方針」および学習成果を獲得させるために、三つの方針のもとに「学習成果を基にした教育の方法、実践」を行い、卒業認定会議および単位認定会議において GPA 集計表を用いて成績評価など学習の結果について分析を行い学生の学習の状況を共有している。

3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組については、入学式に学生便覧を配布し、学則並びに学則施行細則に明記している。また、ホームページでも公表している。

卒業認定・学位授与の方針 学位：学士（栄養学）

現場に即応する管理栄養士になるため、学科の教育課程（学部共通基礎教養科目および専門教育科目）の学習をとおして、管理栄養士としての学習成果を保証する教育課程の科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要に単位を修得した者に学位を授与する。

単位は、各期 15 回の授業終了後に実施する定期試験あるいは提出物または日常的なレポート（主として実験実習）によって認定している。定期試験等の不合格者には再試験を実施する。評価方法などは、学生便覧の中（岡山学院大学学則第 4 章 単位・授業及び卒業の要件、学則施行細則第 5 章 単位修得の認定及び評価について）に明記して周知している。授業への出席は、全授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に受験資格を与えていた。

授業科目の学習評価は、100 点法をもって採点し、80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可、60 点未満を不可としている。本学では、学則施行細則第 7 条（5）項に示す通り、成績評価に GP（グレードポイント）を用いて学生の学習成果を目視できる形にしている。GP は授業評価に対して優を 4、良を 3、可を 2、不可を 1 とし、出席時間数が足りず受験資格なしとなったものを 0 としている。この GP を学期ごとに単位当たり平均 GPA（グレードポイントアベレージ）を算出し総合的な成績評価の判定等に使用している。各科目の成績は、大学設置基準第 25 条の 2 及び第 27 条を遵守している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

受験生などのステークホルダーに対し、学生支援ガイドブックで客観的な指標の算出方法を配布・公表している。（該当ページ：4 ページ）（冊子媒体（通し番号）：3 ページ）
<https://owc.ac.jp/gakuseishien/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組については、入学式に学生便覧を配布し、学則並びに学則施行細則に明記している。また、ホームページでも公表している。

卒業認定・学位授与の方針

学位：学士（栄養学）

修業年限：4年

卒業の要件 総修得単位 124 以上

イ) 学部共通基礎教養科目については、22 単位以上。

ロ) 学科専門科目については、70 単位以上。

管理栄養士国家試験受験資格については「専門基礎分野」38 単位、「専門分野」44 単位の総 単位数 82 単位最低限必要。

現場に即応する管理栄養士になるため、学科の教育課程（学部共通基礎教養科目および専門教育科目）の学習をとおして、管理栄養士としての学習成果を保証する教育課程の科目的単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。尚、単位認定は科目の成績評価を基礎として単位認定の教授会において、学習成果を基準に判定する。卒業を認める卒業生の学習成果は次のとおりである。

1 学位授与に必要な単位を修得している。

2 卒業後社会人として求められるコミュニケーション能力、態度（心構え）や職業に対する知識、理解、価値、意見を獲得している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/31zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/31zaimu.pdf
財産目録	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/31zaimu.pdf
事業報告書	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/31zaimu.pdf
監事による監査報告（書）	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/31zaimu.pdf

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称： 公表方法：	対象年度： ）
中長期計画（名称： 公表方法：	対象年度： ）

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2019/06/30daigakutenken.pdf
--

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2018/10/29daigakuhyoukahoukokusho.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf) (概要) 教育目標 人間生活学部食物栄養学科では、高度な専門知識や技能を修得し、QOL 向上ための栄養の指導を行う専門家を育成する。 4年間じっくり学ぶことで、栄養士免許を取得するとともに、管理栄養士の国家試験受験資格を得る。管理栄養士とは、「人」の健康の維持増進をはかるための栄養の指導に携わる専門家である。高齢化が進むこれから社会にあってはチーム医療のスタッフとして大いに期待され、また、食品技術系の企業においても、管理栄養士に人材ニーズが高まっている。食物栄養学科では将来、こうした管理栄養士に成長できる実力を育てるために次の教育目標を掲げている。 1 生活習慣病の予防と改善に貢献する管理栄養士の養成 2 疾病の予防や治療において栄養評価・判定に基づく高度な専門知識・技能による栄養指導及び栄養管理等に携わることのできる管理栄養士の養成 3 豊かな人間性に富み、カウンセリングや福祉・介護分野の知識を修得した管理栄養士の養成 4 人材ニーズが高まっている食品技術系の企業で活躍する管理栄養士の育成 卒業の認定に関する方針 (公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf) (概要) 学位：学士（栄養学） Society 5.0 時代の現場に即応する管理栄養士になるため、学科の教育課程（学部共通基礎教養科目および専門教育科目）の学習をとおして、管理栄養士としての学習成果を保証する教育課程の科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。尚、単位認定は科目の成績評価を基礎として単位認定の教授会において、学習成果を基準に判定する。 卒業を認める卒業生の学習成果は次のとおりである。 1 学位授与に必要な単位を修得している。 2 卒業後社会人として求められるコミュニケーション能力、態度（心構え）や職業に対する知識、理解、価値、意見を獲得している。 教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf) (概要) コアカリキュラムとサブカリキュラムを編成実施する。 管理栄養士課程として、栄養士の免許および管理栄養士の国家試験受験資格を得るための科目をコアカリキュラムに編成する。また、同時に「食品衛生資格履修コース」をコアカリキュラムの中に科目指定する。特に授業においては、科目の専門的学習成果のみではなく汎用的学習成果も獲得できるように実施する。更に、希望者に対して、栄養教諭一種免許状、フードスペシャリスト資格認定証、図書館司書、社会教育主任用資格などが取得できるサブカリキュラムも編成し、実施する。また、汎用的学習成果の獲得を支援する基礎教養科目も編成し、実施する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。
https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf)

(概要)

入学者受け入れの方針

本学に入学する人物には、次のような資質・能力を求める。

- 管理栄養士の仕事を理解している。
- 卒業後、管理栄養士として職業に就く。
- 本学での学習に必要な一定水準の学力を身に付けている。
- 生物、化学を基礎とする学習に努力できる。

②教育研究上の基本組織に関すること

(公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。
https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）												
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計					
—	1人	—				1人						
人間生活学部	—	8人	3人	4人	1人	0人	16人					
	—	人	人	人	人	人	人					
b. 教員数（兼務者）												
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計						
			0人			17人						
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)												
公表方法：ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf												
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）												
FDの状況をホームページで公表している https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2019/12/2019fdsd-1.pdf												

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関するこ

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
人間生活学部	40人	18人	45%	160人	98人	61%	0人	3人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	40人	18人	45%	160人	98人	61%	0人	3人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間生活学部	34人 (100%)	0人 (0%)	31人 (91.1%)	3人 (8.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	34人 (100%)	0人 (0%)	31人 (91.1%)	3人 (8.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
【病院】 (医) 新倉敷メディカルスクエア、 (医) 真弘会谷病院				
【栄養教諭】 広島県臨時職員				
【福祉施設】 (社) 東備福祉社会紅葉川荘、 (医) 純心会ハートフル国分寺、 (有) ケア・ワン、 (社) 報恩良友会ロータス桑野、 みなとまちこども園、 (社) 一羊会奈多愛育園、 (株) スマイルキッズ、 さんぽう保育園				
【給食会社】 一富士フードサービス (株) 、 富士産業 (株) 、 (株) 日清医療食品、 (公) 岡山県学校給				

食会、エーエムサービス（株）、SGクリエイト（株）、（株）ベネミール
【ドラッグストア】（株）ザグザグ
【一般】（株）あさひ、（株）ザグザグ、岡山トヨペット（株）、資生堂ジャパン（株）、いこい住宅、
（社）順源会
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関するこ

（概要）

＜シラバスや年間の授業の計画の概要＞

【教育課程編成実施の方針】

コアカリキュラムとサブカリキュラムを編成実施する。管理栄養士課程として、栄養士の免許および管理栄養士の国家試験受験資格を得るために科目をコアカリキュラムに編成する。また、同時に「食品衛生資格履修コース」をコアカリキュラムの中に科目指定する。特に授業においては、科目の専門的学習成果のみではなく汎用的学習成果も獲得できるように実施する。更に、希望者に対して、栄養教諭一種免許状、フードスペシャリスト資格認定証、図書館司書、社会教育主事任用資格などが取得できるサブカリキュラムも編成し、実施する。また、汎用的学習成果の獲得を支援する基礎教養科目も編成し、実施する。

【シラバス】

岡山学院大学及び岡山短期大学の教育方針に従い、各学科の教育課程（カリキュラム）の授業科目のシラバス（教育計画）の作成について定める。シラバスの様式は様式-1のとおりとする。シラバスには年度表示して、使用する学生の入学年度を明確にする。教育課程（カリキュラム）に編成されている授業科目名を記入する。当該授業科目の授業回数と単位数を記入する。授業科目を担当する教員名を記入し、学生からの質問受付の方法として e-mail アドレス及びオフィスアワーを記入する。e-mail アドレスがない場合は無記入とする。オフィスアワーの記入は、時間設定の代わりに在室時は何時でも可としてもよい。教育目標は教育課程編成・実施の方針及び学生の学習成果について明確に記入する。授業の進め方にある講義・演習・実験・実習・実技は、いざれかを四角で囲う。その際、別紙-1, 2 の授業形態を参照する。予習・復習は、1 単位 45 時間の計算によって、講義：30 時間、演習：15～30 時間を課すよう授業時間以外の学習を加えること。テキストの指定は授業内容に相応しいもので、高額にならないものを選択すること。学習成果を明示し、「達成基準」ではなく、学習成果を測定する方法及び評価点の配点が学生に分かるよう記入する。参考図書等を記述し学生が学習しやすくなる。1 回から 15 回の授業内容を記入する。学習内容の箇条書きではなく、「何を学び何が出来るようになるか」について教育目標と学習成果の整合性を図って記入する。該当回の授業で何を学習したかを欠席者にも分かるよう記入する。定期試験を含まない。

【令和2年度の年間の授業の計画】

学年・学期・休業日

学年 4月1日～翌年3月31日

学期 前期 4月1日～9月10日, 後期 9月11日～翌年3月31日

休業日 国民の祝日に関する法律に規定する休日

日曜日

春期休業 3月21日～3月31日

夏期休業 8月1日～9月10日

冬期休業 12月22日～翌年1月7日

前期（4月1日～9月10日）		後期（9月11日～3月31日）	
4月	4月1日入学式 4月2日～7日オリエンテーション（新入生） 4月2日授業開始（新入生以外） 4月8日授業開始（新入生） 4月6日～11日履修登録（新入生以外） 4月13日～18日履修登録（新入生）	10月	10月17日有城祭 10月27日短大開学記念日
5月	5月31日大学開学記念日	11月	11月11日学友会役員選挙
6月	6月27日後援会総会	12月	12月21日授業終了
7月	7月5日同窓会総会	1月	冬期休業12月22日～翌年1月7日 1月8日授業開始 1月24日～1月29日定期試験
8月	7月29日～8月3日定期試験	2月	
9月	9月1日～9月8日オリエンテーション期間 9月11日後期授業開始 9月14日～9月19日履修登録	3月	3月19日卒業式 春期休業 3月21日～3月24日（学則では31日） 3月25日～3月31日オリエンテーション（在学生）

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関するこ

（概要）

卒業認定・学位授与の方針

学位：学士（栄養学）

修業年限：4年

卒業の要件

総修得単位 124 以上

イ) 学部共通基礎教養科目については、22 単位以上。

ロ) 学科専門科目については、70 単位以上。

管理栄養士国家試験受験資格については「専門基礎分野」38 単位、「専門分野」44 単位の総単位数 82 単位最低限必要。

Society 5.0 時代の現場に即応する管理栄養士になるため、学科の教育課程（学部共通基礎教養科目および専門教育科目）の学習をとおして、管理栄養士としての学習成果を保証する教育課程の科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。

尚、単位認定は科目の成績評価を基礎として単位認定の教授会において、学習成果を基準に判定する。

卒業を認める卒業生の学習成果は次のとおりである。

- 1 学位授与に必要な単位を修得している。
- 2 卒業後社会人として求められるコミュニケーション能力、態度（心構え）や職業に対する知識、理解、価値、意見を獲得している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間生活学部	食物栄養学科	124 単位	有・無	(1 学期) 30 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)	公表方法 :			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法 :			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関するこ

公表方法 : ホームページで公表

https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間生活 学部	食物栄養 学科	490,000 円	250,000 円	450,000 円	施設設備費、教育充実費
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) メンタルケアやカウンセリング体制については学生相談室がある。本学学生の個人的諸問題について相談に応じ、援助を行うことを目的とするもので、入学式直後のオリエンテーションで概要を毎年告知している。構成員はカウンセラー及び相談員である。利用可能な日時は年度・学期ごとに掲示によって告知し、利用方法に関しては全学生に対して新年度オリエンテーションにおいてカウンセラーが特別に説明している。以上のこととは学生便覧に詳述され、学生はいつでも読むことが出来る。運営に関しては学長とカウンセラー及び相談員が連携をとっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 大学の専任教員が担当者となって編入学、公務員試験をはじめとする一般職の就職相談及び就職指導などキャリア支援をしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では教員の中から任命された生活指導担当教員により生活指導部が構成され、学生の心身ともに健康な生活支援を行っている。また、同様に任命された環境衛生担当教員で構成する環境衛生部は学内の清掃と美化に努め、学内の規律を保つための厚生補導に努める。このことは入学式直後の新入生オリエンテーションや新学期の新2、新3、新4年次生へのオリエンテーションでも生活指導部および環境衛生部は学生に対し呼びかけ、注意を促すのが通例である。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2020/06/r2ogu172_2.pdf
